

第44回

全国腎疾患懇話会 学術大会in石川

ニュース
No6

発行日 2021年8月

大会テーマ「患者とともに歩む透析医療」

*演題の登録期間を8/31まで延長します！
*大会当日の内容のオンデマンド配信が
決定しました！

参加登録(9月末まで)、
演題・抄録登録(8月末まで)お待ちしています

記念講演 「透析医療と倫理（仮）」
道南労働者医療協会 函館稜北病院 堀口 信医師

<講演の目的と先生のご紹介>

透析をおこなっている医療機関では日常的に安心・安全な治療を提供し患者の生活の質向上のために日々努力をしているところです。患者の高齢化による身体合併症や認知症の進行、ガンの合併など治療の継続・良好なケアが困難となる場面も多く経験するところとなっています。いわゆる終末期の医療に関しては、患者の置かれた状況や考え方など個別性を尊重しながら進めていく必要があります。2018年、厚生労働省はこれまでのガイドラインにアドバンスケアプランニングの概念を取り入れ「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を改訂し意思決定の方法を指示示しました。また、日本透析医学会は2014年に透析医療における合意を示すものとして「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」を発表しました。

2019年、公立福生病院における透析中止事例に関する報道を契機として、治療に関する意思決定プロセスについての関心が高まっています。

全腎懇においても、この間インフォームドコンセントや高齢者における倫理的課題のテーマで企画として取り組まれてきました。今回、いまいちど透析医療をめぐる倫理的課題、治療に関する意思決定プロセスについて、「患者とともに歩む医療」「医療は共同のいとなみ」といった観点から深める機会として、全日本民医連倫理委員会でご活躍してきた堀口先生を講師にお願いいたしました。多くの皆様の参加をお待ちしています。

(大会長 島隆雄)

堀口先生の講演に関して

講演内容を深めるために、「人工透析の倫理的課題に関するアンケート」を実施しています。

各施設にアンケート用紙を送付しました。HPからもダウンロードできます。
ぜひご協力お願いします。詳細は、大会ホームページをご覧ください。

〒920-8616

石川県金沢市京町20番3号

TEL (076) 251-6111

城北病院 事務局

✉ zenzinkon44@jouhoku.jp

お問い合わせ
事務局

全国腎疾患懇話会学術大会in石川
公式HPアドレス
<http://jouhoku-hosp.com/zzk/>